

## 新除草・調節剤

C - M H

### 植物成長調整剤

(取扱メーカー) 日本ヒドラジン工業株式会社  
サンケイ化学株式会社  
中外製薬株式会社  
日産化学工業株式会社  
日本農薬株式会社  
日本特産株式会社

対象作物：たばこ。

成分・作用特性：本剤はマレイン酸ヒドラジド・コリン塩を有効成分とする淡褐色、水溶性の液体である。本剤は、現在市販されているMH-30と同濃度のMHを含み、外観もほとんど同じである。

塩を作るコリンは動植物体内に広く存在する物質で、家畜の飼料に添加されており、安全性きわめて高く、植物体への浸透性や移行性をよくするため、優れた腋芽抑制効果を示すものである。

毒性：急性経口毒性は、マウス(♂)LD<sub>50</sub> 7,150 mg/kg, ラット(♂)LD<sub>50</sub> 6,810 mg/kg であり、急性経皮毒性は、ラット(♂・♀)LD<sub>50</sub> 10,210 mg/kg 以上である。魚毒性は、コイで

48時間TLmは480 ppm, ヒメダカで48時間TLmは2,300 ppmである。以上の通り安全性が高く、人畜毒性は普通物、魚毒性はA類である。

使用方法：たばこの腋芽抑制を目的とし、芯止後、黄色種で60~80倍液20 ml, 在来種(五在を除く)で80~100倍液20 ml, バーレー種(五在を含む)120~150倍液30 mlを散布する。

使用上の注意：①所定の稀釈倍数を厳守すること。たばこの作柄により散布量を増減する必要がある場合は、1株当りの散布液量で調節すること。②散布後の降雨は効果を減ずるおそれがあるので、降雨が予想される場合の散布はさけること。③芯止後なるべく早い時期に散布する。降雨などのため散布が遅れて腋芽が伸長した場合は、腋芽を摘芽してから散布する。なお、芯止前の散布は、葉害や収量低下の原因となるので、芯止前には使用しないこと。④直射日光の強い日中の散布は、葉害を生ずるおそれがあるので使用をさけること。⑤他剤との混用をさけること。⑥本剤は、たばこ以外の植物にも微量で影響を及ぼすので、周囲の作物にかからないよう十分に注意し散布すること。また、使用後の容器や散布器具は必ず洗浄しておくこと。

## '78年版 SHORT REVIEW OF HERBICIDES

編集 保土谷化学工業(株)

- 記載内容■
- 化学名 ●構造式
  - 毒性 ●適用雑草
  - 作用機作
  - 化学的・物理的性状

B5判248頁/定価4,000円(送料別)  
現在世界中で使用、研究開発されている除草剤500余種類を最新情報にとずいて網羅。

## 新版・日本原色雑草図鑑

編集 沼田 真・吉沢長人  
B5判 420頁 定価9,800円(〒280円)

## 野抵抗性品種とその利用

山川邦夫著 A5判 136頁(カラー4頁)  
定価1,900円(送料別)

全国農村教育協会

東京都港区愛宕1-2-2 第9森ビル  
電話03(436)3388 振替東京1-97736